

【別表2】キラリンの部 競技・種目

○ 陸上競技

競技区分	種 目	障 害 区 分	備 考 (参加条件等)
競走競技	50mチャレンジ (注1)	すべての障害区分	最後まで走りきることを目標とし、補助具の使用及び伴走者の有無を問わない。
	50m走 (注2)		
	100m走 (注2)		
	800m走 (注3)	知的障害・精神障害	男子：5分00秒以内、女子：6分00秒以内
	1500m走 (注3)	肢1 (1~3) 肢2 (11~15) 肢3 (19, 21, 22) 視覚障害・聴覚障害 知的障害・精神障害 内部障害 (28)	男子：10分00秒以内、女子：12分00秒以内
	スラローム	肢2 (10~12) 肢3 (16~19) 肢4 (23)	
	4 × 100mリレー (注4)	肢1 (1~7, 9) 肢3 (21, 22) 視覚障害・聴覚障害 知的障害・精神障害 内部障害 (28)	
跳躍競技	立幅跳 (注2・5)	肢1 (1~7, 9) 肢3 (21, 22) 視覚障害・聴覚障害 知的障害・精神障害 内部障害 (28)	40cm以上の跳躍が出来る者
	走幅跳 (注2・5)	肢1 (1~5, 9) 肢3 (21, 22) 視覚障害・聴覚障害 知的障害・精神障害 内部障害 (28)	150cm以上の跳躍が出来る者
投てき競技	ソフトボール投	すべての障害区分	
	ジャベリックスロー		
	ビーンバッグ投	肢2 (10, 11) 肢3 (16, 17) 肢4 (23)	

(注1) 50mチャレンジにエントリーする者は、他の競走競技には参加できない (50mチャレンジ参加者で13歳以上の者は、キラリンの部の跳躍・投てき競技の種目に参加することができる)。

(注2) 50mと100m、立幅跳と走幅跳、ジャベリックスローとソフトボール投の重複エントリーを認める。

(注3) 800mと1500mは、大会運営上、備考欄に記載の記録を達成した者とする。

(注4) リレーの1チームの編成は、男女混合でもよい。また、同一市町でチームが編成できない場合には、複数の市町の混成チームの出場を認める。

(注5) 跳躍競技は、ケガを防止するため、着地地点で砂場に届く距離 (備考欄参照) を跳べる者とする。

○ 水泳

25mチャレンジ (注6)	すべての障害区分	最後まで泳ぎきることを目標とし、補助具やビート板などの使用を認める。
自由形 25m・50m・100m		
背泳ぎ 25m・50m・100m		
平泳ぎ 25m・50m・100m		
バタフライ 25m・50m・100m		
4 × 25mリレー (注7)		

(注6) 25mチャレンジにエントリーする者は、他の種目には参加できない。

(注7) リレーの1チームの編成は、男女混合でもよい。また、同一市町でチームが編成できない場合には、複数の市町の混成チームの出場を認める。

○ フライングディスク

ディスタンス（座位・立位）	すべての障害区分	
ディスリート・5		

○ アーチェリー

50・30mラウンド	肢体不自由（1～6） 聴覚障害（7） 内部障害（8）	
30mダブルラウンド		

（注8）部門はリカーブ部門とコンパウンド部門とする。

○ ボッチャ

立位	肢体不自由（1、9）	
座位	肢体不自由（2～8、10）	

* すべての障害区分とは、「身体障害」（肢体、視覚、聴覚、内部）、「知的障害」及び「精神障害」です。

* 【競技の年齢区分】（令和8年4月1日現在での年齢）

身体障害者 (内部障害者を含む)	12歳以下	6歳以上12歳以下の者	知的障害者	12歳以下	6歳以上12歳以下の者
	1部	13歳以上39歳以下の者		少年	13歳以上19歳以下の者
	2部	40歳以上の者		青年	20歳以上35歳以下の者
精神障害者	12歳以下	6歳以上12歳以下の者		壮年	36歳以上の者
	1部	13歳以上39歳以下の者			
	2部	40歳以上の者			

※「12歳以下」は、陸上競技の50mチャレンジ、水泳の25mチャレンジにのみ参加可能